

令和6年度 事務事業評価（議会）
（令和5年度決算）

分科会評価結果

分 科 会 名	文教分科会					整 理 番 号	文教－ 1			
事 務 事 業 名	生き生き学習サポート事業									
評 価 区 分 (事務事業の方向性)	1	拡 充	2	継 続	3	改善の上 で継続	④	終期設定 し終了	5	休止・廃止

〈上記評価区分とした理由、改善内容、提案事項等〉

本事業は、平成20年度から専門的な知識、技能、技術や豊富な経験を有する外部人材の活用を支援し、学校が地域と一体となった多様な学習活動を展開することにより、児童生徒の学習意欲の喚起や自ら学び自ら考える力などの生きる力を育むことを目的としている。

本市では、各学校が外部人材の専門性を生かした学習を充実させることにより、児童生徒の生きる力を育む取組を行ってきたが、本事業以外の様々な方法で外部人材を活用している状況もあり、本事業を活用した割合は小学校56%、中学校21%といずれも低く、本来のニーズと結びついていないとも考えられる。また、地域によっては、高齢化などにより外部講師を引き受ける側の負担も増していると考えられることから、終期設定し終了とした。

なお、今後については、各学校・各地域における状況が異なることから、それぞれの状況に応じて、外部人材を効果的に活用した多様な学習活動の在り方を検討するよう求める。